

平成30年度職員研修発表
『多職種で取り組むターミナルケア』

特別養護老人ホーム 芦別慈恵園
介護支援専門員 滝口千秋

「ターミナルケア」とは…
慈恵園でお亡くなりになるまで生活して頂く介護のこと

「ターミナルケア」発表内容は

- 1、どのような方で、最期までの暮らしはどうだったのか
- 2、たくさんの職種がどのように関わり関係したか

事例:A様

事例発表、写真の掲載について
ご家族の同意を得ています

入居:H24年5月
82歳
<要介護度:4>

永眠:H31年1月23日
享年 89歳
<要介護度:5>



事故で頭部打撲による硬膜下血腫
→要介護状態になり
入院→転院→入居へ

後遺症:記憶障害・見当識障害など

事故以前からの変形性膝関節症
筋力低下
→車椅子での生活

『ここは私のところではない』

- ・岩手県で出生、裕福な家庭に育つ
- ・女学校（現在の女子短期大学）を卒業
- ・教員免許を取得し、市内で教員
- ・華道、書道、詩吟などは師範
- ・夫の死去後は独居

ご自分の考えを話すことができる
周りの雰囲気を感じる
笑顔で人に関わる気遣い



写真の名前 [] で言葉にふりかえり
<想い出がないとあると3-4人が覚える
行きの仲は相談を申すまじければなる

アルバムを見て語れる
ピアノを弾いて歌える

学習療法
余暇活動の充実へ



毎年のお誕生日は
ご家族と食事



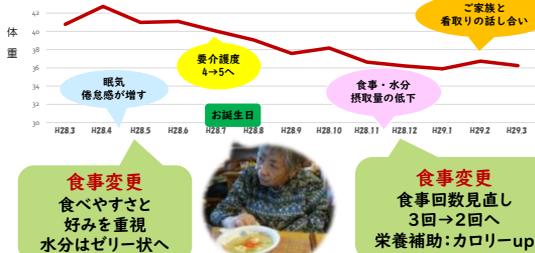
H28年1月28日 右脳梗塞を発症し入院
<29日間の入院で体重が-3.5kg>

退院日に飲み込みテストを実施

食事形態：粥・ミキサー食
 提供量：全量（食べこぼしがあるため）
 汁物、水分：トロミ使用
 栄養補助：昼夕にプロテインゼリー（50Kcal×2）
 食事場所：離床しリビングで（リクライニング使用）
 摂取手段：セッティングでスプーン使用、自力摂取
 使いやすい食器を購入し使用
 口腔ケア：スポンジブラシでの洗浄と保湿



退院後から1年間の経過：体重は-4.5kg



ご家族と看取りについて話し合い

入院したときは、胃瘻も考えたが…
 本人のことを考えると、胃瘻にしない方が良いと思う

いずれ来ることと覚悟していたつもりだが
 考えないようにしていたところもあるかもしれない
 後悔しないようにしたい

最期まで慈恵園でお願いします



ターミナルケアと決まったA様の暮らしは…



体調が安定なら寝たきりにはしない
 できる身体の動きを維持する
 日課や趣味活動を続ける・行事に出る・外にも出る



さらに体重、体力が低下：夏を乗り切り為のケアを
 普通型車椅子で行事などにも参加できる暮らし
 音楽や人と触れ合うことが継続される

H31年1月2日

H31年1月12日に発熱
インフルエンザは(-)
熱が下がっても食事、水分は摂れない…

1月23日朝に発熱
13:27 永眠

脳梗塞発症から3年
食事が2回になってから2年が経過



「ここは私のところではない」



「笑顔が素敵だった」
「笑顔に癒されていた」

笑顔になれたのは
この生活が良かったからと
思っています

A様が笑顔になったのは…

ご自宅からアルバム、キーボードなどをご持参頂く
→人との関わりが増える



学習療法の前にピアノを弾く、聞く
音楽が身近で大事なもの
～生活歴、職歴を知らなければ～

大切なことを続けるために



生活相談員：出生～入居までをご家族に聞き取り
入居時に飲み込みテスト、動作確認などで
多職種が関わり、自分の目で見て確かめる

各職種が顔を合わせて打ち合わせや会議へ

入居時には既に低栄養…

お客様に変化は必ず起こる



慈恵園の介護の行い方
↓
大切なことは変えずに暮らす



入居当初



お亡くなりになる1か月前

どの職種も看取りへ備えてゆかなければ…

**A様の「暮らし」から
「A様らしい暮らし」へ**

< 芦別慈恵園 基本理念 >

和顔愛語

～人に優しい笑顔で、心は豊かに、言葉は和やかに～

< 芦別慈恵園 介護理念 >

Iひとり一人の生活や暮らしを大切にします

II最後の時まで口から食べる食事の工夫をします

IIIご家族と一緒に看取ります



病気をしても、麻痺が残っても、言葉が出なくても
A様の生きてきた背景は変わらない…



すべての職種が大切な背景を知らなければ介護はできない



盆踊り：先頭で踊るA様

ターミナルケアになっても
良い時のお顔や様子が
ケアに結び付く

たくさんの職種と共に
お客様の暮らしを…



ご清聴
ありがとうございました